

車止め撤去の画期的な新工法 スラッシュカット工法

■ 撤去のスピード化

重機もいらず、ハツリもいらず、ウォールソーにて素早く撤去。

■ 作業員の削減

特殊な作業はなし、少人数で撤去。

現在、全国の港湾・漁港において老朽化対策としての維持補修等が数多く行われており、車止めの補修が増えています。

それに伴い、全国各地で数多く設置されてきた被覆鋼板製車止め撤去の機会も多くなり、現場ではその車止め撤去に多大な労力と時間を要しているのが現状です。

弊社ではそのような問題を解決するために、ウォールソーを使った新工法を開発し、作業員の省力化と工期短縮を実現しました。

これからの現場において、必ずお役にたてる工法であると確信しています。

未来航路株式会社

<http://www.miraikouro.co.jp/>

工事スピードUP 

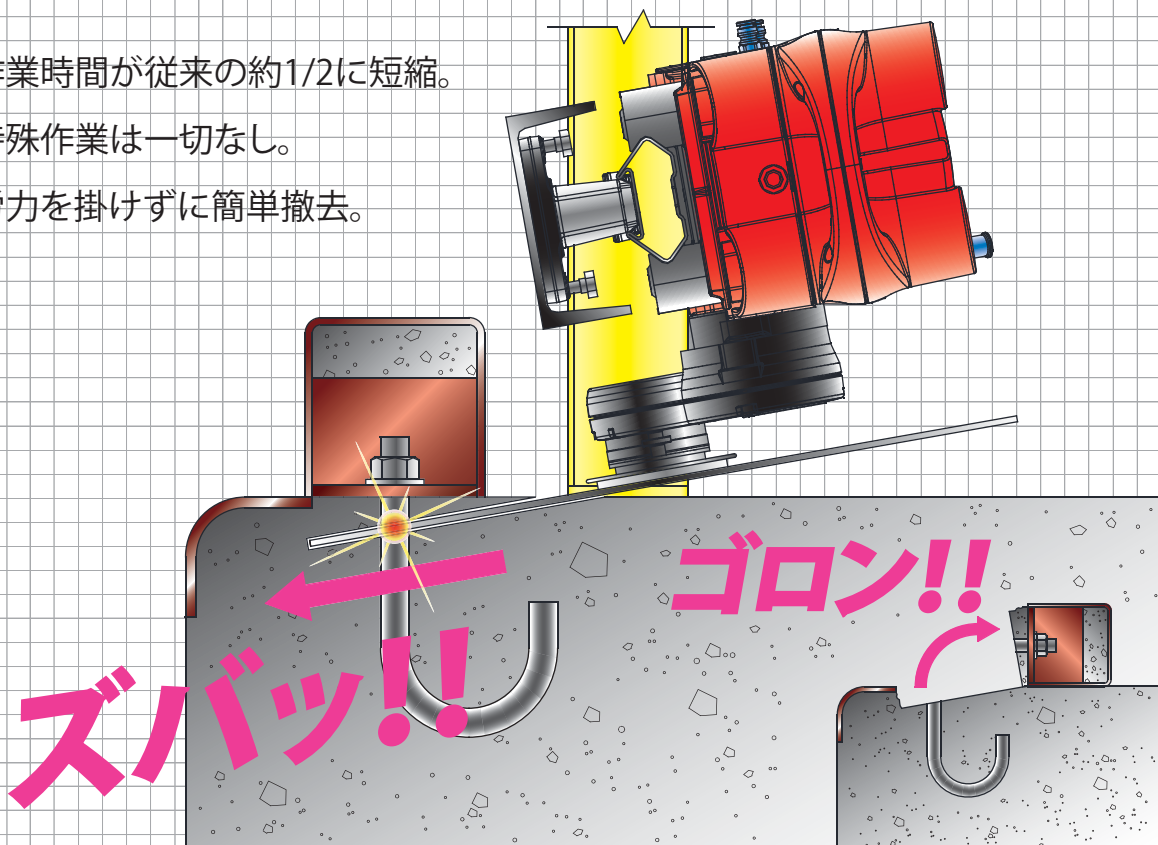
作業者の労力軽減！

新工法

撤去の最速化を実現した **スラッシュカット工法!!**

スラッシュカット工法は、ウォールソーに傾斜を持たせて上部工ごとアンカーボルトを切断する車止め撤去の新工法です。

- 作業時間が従来の約1/2に短縮。
- 特殊作業は一切なし。
- 労力を掛けずに簡単撤去。

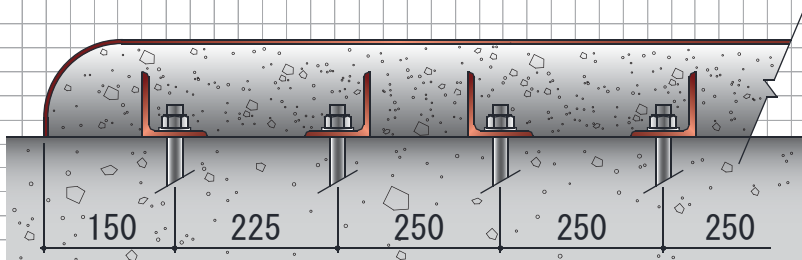


車止めの弱点をズバッと切断！ ゴロンと撤去ができるんです!!

従来工法の問題点

約25cmピッチでアンカーボルトが固定されており、固定部分を露出させるコンクリートハツリ作業が撤去するために必要な作業でした。しかし、この作業が非常に細かく、難儀な作業となっていました。

- 作業工程が多い。
- 工程ごとに時間が掛かる。
- 作業者の労力が非常に掛かる。



工法比較：3mの場合

従来工法

① 被覆された鋼板のガス溶断



30分

② 内部コンクリートのハツリ撤去



40分

③ 露出した固定部のガス溶断



10分

④ 残ったアンカーボルト周囲のハツリ



20分

⑤ 残ったアンカーボルトのガス溶断



5分

105分

※ 1日当りの撤去本数：4本 (作業時間:7時間)

新工法

① 自在切断装置の設置



15分

② 本体下部の切断



30分

③ 本体の取外し



1分

46分

※ 1日当りの撤去本数：9本 (作業時間:7時間)